

初めての日本滞在が
忘れられない経験に



CLZ校訪問団团长
アナ・スティーンブリックさん

訪問団团长として山田町に来ることができたことを、本当にうれしく思います。

今回の訪問の一番の目的は、今年1月にわが校を訪問された際に築いた、山田の生徒たちとの友情を深め合うことにありました。この旅を実現するために、わが校の生徒たちは大変な苦勞をしました。ザイスト中の自動車を洗い、ペットボトルを拾い集め、マラソン大会に出場して賞金を勝ち取ったほか、アルバイトをして旅行費用を貯めることができました。

滞在期間中には沼崎喜一町長をはじめ、町民の皆さん、中学校の皆さんから温かい歓迎を受け、とても感謝しています。また、ホストファミリーの皆さんからいただいた親切なおもてなしにも感謝いたします。皆さんののおかげで、初めての日本滞在が一生忘れられないものとなりました。

オランダに帰りましたら、オランダ皇太子ご夫妻をはじめ、家族や友人たちに旅の報告をし、山田の皆さんに友情と敬意を持って過ごしていきたいと思います。

今回の訪問で、ザイストの生徒とホームステイ先の友にとって忘れることのできない体験ができ、その体験と友情が生涯の思い出となることでしょう。皆さんありがとうございました。

訪問団の皆さんによる表敬訪問の様子



ホストファミリー対面式では、山田の友人と9カ月ぶりの再会を喜び合いました



ホームステイ先では、はしの使い方を教わりながら日本の家庭料理を味わいました

翌十七日から十九日まで、訪問団は山田中学校と豊間根中学校に分かれて本町の中学生と一緒に英語や数学、習字などの授業を受け、日本の中学校生活を体験。また、クラブ活動にも参加し、茶道の体験をしたり、バスケット部の生徒たちと汗を流したりと、同年代の生徒同士での交流を深めました。

十七日夜には訪問団の皆さん主催の「オランダの夕べ」が開

十月十六日、訪問団を乗せたバスは役場前に到着。一行は沼崎喜一町長を表敬訪問し、沼崎町長にヤンセンザイスト市長やレウシシクCLZ校長からのメッセージが書かれたパンフレットと記念品を手渡しました。

その後ホストファミリーとの対面式が行われ、訪問団は十九日まで各家庭でホームステイしました。ホームステイ先となったのは、ジュニア海外使節団の生徒たちの家庭で、それぞれ自分たちがオランダでお世話になった生徒を受け入れました。

子供たちは、九カ月ぶりに果たした友人との再会を互いに喜び合っていました。



CLZ校訪問団8人が来町 海を越えた友情深め合う

十月十六日から二十一日まで、友好都市オランダ王国ザイスト市のクリステリック・リセウム・ザイスト（CLZ）校から訪問団が来町しました。今回訪れたのは、今年一月に同市を訪問した町ジュニア海外使節団を受け入れたホストファミリーの生徒など八人。滞在期間中、訪問団の皆さんは中学校での授業体験やホームステイなどで町民と交流を深めました。

訪問団はCLZ校の教諭アナ・スティーンブリックさんを团长に、同校の生徒五人と父親のウェルナー・ブルーイニアーさん、財団法人ホフライイスからコニー・ヨングブルドゥウさんの八人。コニーさんは今回で十回目の来町となりました。



CLZ校訪問団の皆さん。上段左からグレン・ブルーイニアー、ボブ・ファン・ファールズ、ティシ・アルダス、ユブ・ペルフォス、マックス・リント、下段左から团长のアナ・スティーンブリック、ウェルナー・ブルーイニアー（グレンの父）、コニー・ヨングブルドゥウ（敬称略）